

どうやって治します？

症例

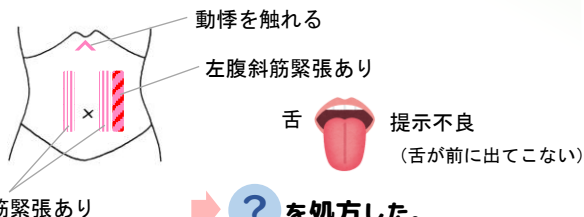
①



16歳女性 ひどい腹痛

ずっとおなかが痛くて、中学から特にひどくなった。
朝、夕が多く、左の横腹がチクチクしてくる。
食べても、寝ても、痛みは良くならない。
内科でいろいろ検査をしたが、異常なしといわれる。
「めっちゃ毎日ストレス。楽しくない。」

やせ型、顔色不良



➡ **？ を処方した。**
➡ **10日後「腹痛が治った」**

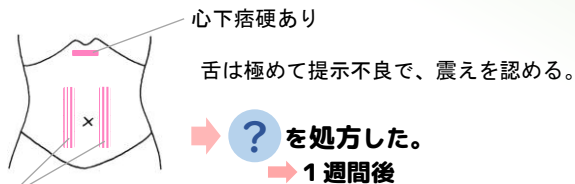
症例

②



31歳 頭痛

5年前から頭痛に悩まされている。
仕事中のイライラが引き金になる。
最初仕事中に痛みがきて、次第に痛みが増してくる。
視覚異常などの前兆はない。
市販のアセトアミノフェンを飲むと効くときもある。
やせ型、顔色不良



両腹直筋緊張あり

➡ **？ を処方した。**
➡ **1週間後**
「イライラしなくなった、頭痛がなくなった」

さて、**？**は何でしょう？

よくかんさん

答：抑肝散です。



※ 抑肝散は、小児科でもっぱら使われることが多く、内科では認知症の周辺症状（易怒、幻覚、昼夜逆転、暴言、暴力）に使われる機会が多いと思われます。最近では、術後せん妄、ICUせん妄に用いられます。さらに慢性疼痛の改善への応用範囲が拡大しています。

※ 今回の症例のように「イライラする」というキーワードがあれば、まずは試してみる価値があります。赤ちゃんから高齢者まで適応する年齢は幅広いです。



◎舌の提示不良について

「舌を診せて下さい」

➡ 「舌がなかなか前に出てこない」「舌が震えている」
これらを診たときに「抑肝散」を使うと結構うまく治ります。
お試しください。

【使用目標】

- ① 易怒 ➡ 内に籠るような感情
- ② 多夢 ➡ 現実的な傾向の夢、学校や職場の夢で登場人物の名前がわかり、まさに起きているかのような感覚を伴う
- ③ 性急 ➡ そもそもイライラしやすい。結論を早く求める。

最近の外来状況

相変わらず寒暖差があるので、咳、鼻水のカゼは多いです。
その一方で、ヘルパンギーナ、手足口病（ともにエンテロウイルスが原因）が流行しています。
大流行にまでは至っていませんが、発症すると数日間お休みになります。さらにウイルス性胃腸炎も見られます。
嘔吐、下痢が認められ、嘔吐がおさまらず元気がないケースもあります。
花粉症は、イネ科の花粉症などが中心になっています。
低気圧が近づくとびに気管支喘息のある人は、発作を起こしやすくなります。
小発作、中発作程度の方は吸入処置で何とか発作がおさまります。